

中小企業DX推進の 失敗率の真因と 診断士が教える成功の3条件

「認知はしている」だけで終わらせない。
現場で実行できるDX推進の実践ガイド。

対象読者

中小企業の経営者・DX推進担当者

発行

Creative Quest Lab

目次

01	中小企業DXの現状と課題	P.3
02	なぜDXの推進は失敗するのか — 3つの真因	P.4
03	DXで成果を出す会社の「3条件」	P.5
04	導入事例：A社（食品加工業）	P.6
05	DX推進度 セルフチェックリスト	P.7
06	DX Navigateプログラムのご紹介・無料診断のご案内	P.8

本ホワイトペーパーについて

本資料は、Creative Quest Labが中小企業経営者・DX推進担当者の皆様に向けて作成した実践ガイドです。掲載の統計データは公開情報をもとにした参考値です。事例の固有名詞は仮称を使用しています。

中小企業DXの現状と課題

経済産業省の推計によれば、DXを「認知している」中小企業は約70%に達する一方、実際に「成果が出ている」と感じている企業はわずか25%にとどまります。この巨大なギャップが「中小企業DXの壁」です。



「認知しているが、成果が出ていない」——この状態こそが最も危険です。投資した予算・時間・人材が無駄になるだけでなく、「DXはうちには無理だ」という誤った結論を導いてしまいます。原因は必ず特定できます。それが本資料の出発点です。

なぜDXの推進は失敗するのか — 3つの真因

01 真因①：「目的」なき導入

「補助金があるから」「競合他社がやっているから」という動機でDXを始め、何を解決したいかの目的が曖昧なまま走り出すケースが最も多く見られます。目的のないDXは、ツールを導入した瞬間に「ゴール」となり、業務改善効果が生まれません。

動機が不明確 → 目的なく導入 → 「ツール導入＝ゴール」化 → 業務改善効果ゼロ

02 真因②：「現場」を無視した設計

経営者やDX担当者だけで意思決定し、実際に使う現場スタッフが設計プロセスから置き去りにされると、導入後に「使いにくい」「前のほうが良かった」という反発が起き、形骸化します。

トップダウン設計 → 現場が置き去り → 現場から反発 → 形骸化・放棄

03 真因③：「成果」の定義がない

「何が変わったら成功か」のKPIを事前に設定せず、効果測定ができないまま投資回収の根拠が消えていく。次の予算確保もできず、DXが途中で止まります。

KPI未設定 → 効果測定不可 → 予算確保できず → DX停止

DXで成果を出す会社の「3条件」

条件1 目的の明文化

- ▶ 「DX業務の工数を月20%削減する」など、具体的で測定可能な改善目標を先に設定する
- ▶ KPIは2〜3個に絞り、経営者から現場まで全社で共有する
- ▶ 「なぜDXをするのか」を一言で言えるようにする

条件2 現場巻き込み設計

- ▶ 現場担当者をDXプロジェクトのメンバーとして最初から入れる
- ▶ 小さな成功体験（クイックウィン）を3ヶ月以内に設計し、現場の信頼を得る
- ▶ 変化への不安を丁寧に解消するコミュニケーションを行う

条件3 段階的投資

- ▶ 一括大型投資ではなく「診断→PoC（1〜2ヶ月試行）→検証→本格展開」の段階論を採用
- ▶ PoCではExcelや無料ツールを活用し、投資額を最小化する
- ▶ 各フェーズに「続行・停止・修正」の判断ポイントを設け、投資リスクをコントロールする

Creative Quest Labのアプローチ：この3条件を実現するために、私たちは「無料診断→戦略策定→PoC→本格導入」の段階的プロセスを設計しています。各フェーズで成果を確認してから次に進むため、**投資リスクを最小化しながら確実な成果を積み上げることが**できます。

導入事例

A社（精密部品加工業・従業員75名・年商7億円）

受発注・生産指示・月次報告をFAX・Excelで運用。工程間のデータ分断と熟練担当者への属人化が限界に達し、DX実行計画の策定を決断。クラウド移行とBI導入を段階的に実施し、ものづくり補助金も活用。

課題の核心：FAX受注→手入力→Excel管理という流れで転記ミスが慢性化し、月次レポート作成に丸2日を要していた。熟練担当者3名の暗黙知がデジタル化されておらず、退職リスクが顕在化。DX認定取得も見据え、段階的な計画策定を支援。

項目	Before（支援前）	After（計画実行後6ヶ月）	改善率
月次レポート作成時間	2日（約16時間）	約1.5時間	-91%
受発注処理工数	月85時間	月12時間	-86%
在庫欠品・過剰在庫率	欠品12%・過剰15%	欠品3%・過剰5%	大幅改善
暗黙知の文書化率	ほぼゼロ	主要工程の80%完了	—
補助金活用	未申請	ものづくり補助金 採択	—

ROI 試算

280万円

投資額（コンサル+クラウドツール導入）

360万円

年間総効果（工数削減+在庫最適化）

約10ヶ月

投資回収期間

DX推進度 セルフチェックリスト

以下の10項目で「はい」と答えられるものにチェックを入れてください。

- 戦略** DXの目的・KPIが社内で文書化されている
- 戦略** 経営者がDXプロジェクトのオーナーになっている
- 現状** 業務フロー（どの業務がどう流れているか）が可視化されている
- 現状** DX投資の優先順位付けができていない
- 実行** DX推進の専任担当者または外部パートナーがいる
- 実行** 段階的な導入計画（フェーズ分け）がある
- 現場** 現場スタッフがDXに賛同している
- 現場** 小さな成功体験を3ヶ月以内に計画している
- 測定** 投資対効果を定期測定する仕組みがある
- 測定** データを見て経営判断する会議体がある

8～10個

DX推進の土台が整っています。さらなる加速を一緒に進めましょう。

5～7個

部分的に課題あり。優先領域の特定が必要です。

4個以下

早急な対策が必要です。無料DX速診をご活用ください。

DX Navigateプログラムのご紹介

「DXの方向性は分かった。でも具体的に何をすればいいかわからない」——そのお悩みを解消するのが本プログラムです。当社の中小企業診断士が伴走し、貴社の状況に最適なDXロードマップを設計・実行支援します。

フェーズ	内容	期間	費用
無料DX速診	現状スコアリング・課題特定・方向性提案	60分	無料
DX戦略策定	目的・KPI設計・ロードマップ作成	2ヶ月	有料
システム選定支援	最適ツール比較・RFI作成・ベンダー交渉	2ヶ月	有料
導入伴走支援	現場定着まで週次サポート・効果測定	3~6ヶ月	有料

無料DX速診に申し込む

60分のオンライン診断で、貴社のDX課題と優先取り組み領域を明確にします。
診断結果はその場でフィードバックし、具体的なネクストステップをご提案します。
しつこい営業は一切ありません。

プログラム料金：50~100万円（税別） / 3ヶ月集中プログラム

業種・規模・支援範囲により変動 / 詳細はLPページで確認 / まずは無料診断で概算をご確認ください

今すぐ無料診断を申し込む

担当：久田裕基（中小企業診断士 / 支援実績30社超）
お問い合わせ：info@creativequestlab.com
受付：平日 9:00~18:00